

# 青梅市第一中学校区 望ましい習慣の形成 — 社会の形成者としての基盤づくり —

習慣	幼稚園（保育所）	小学校		中学校	
		第1学年～第3学年	第4学年～第6学年		
規律ある生活を送る	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 笑顔で挨拶、元気に返事、きれいに後片付けを行う。</li> <li>◆ 共同のものを大切に、みんなで使う。</li> <li>◆ 自分たちで遊び方やきまりをつくり、守って遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 笑顔で挨拶、元気に返事、身の回りを整える。</li> <li>◆ 自分でできることはやり、よく考えて行動する。</li> <li>◆ 約束やきまりを守り、みんなで使う物を大切に使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。</li> <li>◆ より高い目標を立て、くじけないで努力する。</li> <li>◆ 法やきまりを守り、自他の権利を大切にし義務を果たす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 時と場に応じた適切な言動をとる。</li> <li>◆ より高い目標を目指し、希望と勇気をもってやり抜く。</li> <li>◆ 自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。</li> </ul>	
	学校では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師が率先して挨拶、返事、後片付けを行う。</li> <li>○ 物を大切に、譲り合って使うよう、声を掛ける。</li> <li>○ 遊び方やきまりをつくらせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の持ち物の管理及び整理整頓をさせる。</li> <li>○ 自分で考え行動できたときに認め、褒め、励ます。</li> <li>○ 学校の約束やきまりについて指導を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分で計画を立て、行動を振り返る機会を設ける。</li> <li>○ 自分の立てた目標を定期的に見直させる。</li> <li>○ 法やきまりの意義について指導する。</li> <li>○ 挨拶プラス一言運動、「3ない」運動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時と場に応じた言葉遣いや行動について指導する。</li> <li>○ 自分の立てた目標の達成度を定期的を確認させる。</li> <li>○ 自分の言動について振り返る機会を設ける。</li> </ul>
	家庭では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親が率先して挨拶、返事、後片付けを行う。</li> <li>○ 物を最後まで使い切るよう声を掛ける。</li> <li>○ 家での約束を明確にし、約束を守る大切さを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親が率先して身の回りの整理整頓を行う。</li> <li>○ 自分で考え行動できたときに認め、褒め、励ます。</li> <li>○ 約束を守ったときに認め、褒め、励ます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭での過ごし方を振り返る機会を設ける。</li> <li>○ 自分で目標と達成に向けた計画を立てさせ、実行させる。</li> <li>○ きまりを守り、義務を果たしたときに認め、褒め、励ます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 礼儀やマナーについて一緒に考え、実行する。</li> <li>○ 親子で生き方について話し合う機会を設ける。</li> <li>○ 自分で考え行動し、責任を果たしたときに認め、褒め、励ます。</li> </ul>
健康な心と体をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 早寝・早起き・朝ごはんを実行する。</li> <li>◆ 戸外で、友達と一緒に様々な運動や遊びをする。</li> <li>◆ 楽しい雰囲気の中で、食べ物を選んで食べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ うがいや手洗い、歯磨きなど病気を予防する活動を進んで行う。</li> <li>◆ 誰とでも仲良く、健康・安全に留意して意欲的に運動する。</li> <li>◆ 何でも残さず、食べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 不安や悩みに対処するため、相談したり、運動したりする。</li> <li>◆ 活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わう。</li> <li>◆ 栄養の偏りのない食事を心掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自分なりのストレスの対処法をもち、実践する。</li> <li>◆ 目的に適した運動の計画を立て取り組む。</li> <li>◆ 食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を心掛ける。</li> </ul>	
	学校では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 朝の会で、起床から登園までの生活を振り返る機会を設ける。</li> <li>○ 戸外で遊ぶよう声を掛け、一緒に遊ぶ。</li> <li>○ みんなで一緒に食事をする楽しさを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「一校一取組」、「一学級一実践」を充実させる。</li> <li>○ うがいや手洗い、歯磨きの仕方について繰り返し指導する。</li> <li>○ 休み時間に外遊びをするよう声を掛けるとともに、みんなで一緒に遊ぶ工夫をさせる。</li> <li>○ 健康によい食事の採り方を考えながら食べるよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分で工夫して遊んだり運動したりする機会を設ける。</li> <li>○ 体に必要な栄養のバランスを考えさせる。</li> <li>○ 自分の生活を振り返る機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年・学級の枠組を超えた教育相談活動を行う。</li> <li>○ ストレスの対処法について指導する。</li> <li>○ 自分で続けられる運動を考えさせ、実行させる。</li> </ul>
	家庭では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 早寝・早起き・朝ごはん、うがい、手洗い及び歯磨きなどを自ら行わせる。</li> <li>○ 家族で運動する機会を設ける。</li> <li>○ 家族で食卓を囲み、会話をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家族で運動する機会を設ける。</li> <li>○ 好き嫌いをせず、食べさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子供の小さな変化も見逃さないよう見守る。</li> <li>○ 食事の際、栄養のバランスを話題とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親子でストレスに対処する方法を考え、実行する。</li> <li>○ 栄養のバランスを考えた食事を自分で作る機会を設ける。</li> </ul>
人と進んで関わる	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 身近な様々な人々と喜んで触れ合う。</li> <li>◆ 自ら挨拶を交わし、お礼の気持ちを述べる。</li> <li>◆ 思ったことなどを自分なりに表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自ら挨拶を交わし、友達と仲良くし、助け合う。</li> <li>◆ 日頃、世話になっている人々に感謝する。</li> <li>◆ 相手のことを思いやり、親切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自ら挨拶を交わし、男女仲良く協力し、助け合う。</li> <li>◆ 自分と異なる意見や立場を大切に使う。</li> <li>◆ 相手の立場に立って、親切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 友達と互いに励まし合い、高め合う。</li> <li>◆ 人々の支えにより自分があることに感謝し、応える。</li> <li>◆ それぞれの個性や立場を尊重し、謙虚に他に学ぶ。</li> </ul>	
	学校では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者をはじめ地域の人々と触れ合う活動を工夫する。</li> <li>○ 教師が率先して挨拶を交わし、お礼の言葉を述べる。</li> <li>○ 自分の気持ちを言葉で表現させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級全員で活動する機会を多く設ける。</li> <li>○ 職員や保護者等に感謝の気持ちを伝える機会を設ける。</li> <li>○ 帰りの会などで、友達のよさを伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男女が協力して活動する機会を設ける。</li> <li>○ 対話や討論など、様々な話し合い活動を設ける。</li> <li>○ 多様な他者と触れ合い、助け合う活動を工夫する。</li> <li>○ 挨拶プラス一言運動、「3ない」運動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 互いに励まし合い、認め合っている姿を認め、褒め、励ます。</li> <li>○ 各行事について友達の頑張りを伝え合う機会を設ける。</li> <li>○ 多様な個性を認め、互いに学び合う機会を設ける。</li> </ul>
	家庭では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親戚等と会う機会を増やす。</li> <li>○ 親が率先して挨拶を交わし、お礼の言葉を述べる。</li> <li>○ 子供の話を受け止め、最後まで聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達と仲良く、助け合うことの大切さを伝える。</li> <li>○ 親が率先して相手の立場を考え、行動する。</li> </ul>		
主体的に学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 身の回りの事象に関心をもち、疑問を抱いて質問する。</li> <li>◆ 自分の考えを互いに言ったり、聞いたりする。</li> <li>◆ 絵本や物語に親しみ、自ら本に触れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 関心のあること等から課題を決め、必要な事柄を調べる。</li> <li>◆ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合う。</li> <li>◆ 楽しんだり知識を得たりするため、本や文章を選んで読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 考えたこと等から課題を決め、収集した知識や情報に関連付け整理する。</li> <li>◆ 互いの立場や意図をはっきりさせながら話し合う。</li> <li>◆ 複数の本や文章などを選んで比べて読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 課題の解決に向け、多様な方法で情報を集め活用しながら自分の考えを深める。</li> <li>◆ 課題の解決に向け、互いの考えを生かして話し合う。</li> <li>◆ 目的に応じて本や文章を読み、自分の考えを深める。</li> </ul>	
	学校では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ほかに考え方はないか。（多面的・多角的な視点）」、「筋が通って、分かりやすいか。（論理的思考）」、「本当にこれでよいか。（メタ認知）」という問いを子供が自ら発することができるよう指導する。</li> <li>○ 子供の興味・関心を喚起する活動を工夫する。</li> <li>○ 相手のことを分かってもらうよう聞き指導する。</li> <li>○ 読み聞かせを行うとともに、絵本のコーナーを充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日頃から疑問点等を書き留めておくよう指導する。</li> <li>○ 事柄の順序に気を付け、話に反応しながら聞くよう指導する。</li> <li>○ 読み聞かせを行うとともに、本を紹介する活動を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 収集した知識や情報を文章の構成や記述に役立よう整理させる。</li> <li>○ 自分の考えと比べ、共通点と相違点を考えて聞くよう指導する。</li> <li>○ 各教科等で複数の文章を比べて読ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報の収集・活用を繰り返しながら、自らの考えを再構築するよう指導する。</li> <li>○ 自分の考えや立場との違いを聞き分け、自らの考えの深化に生かすよう指導する。</li> <li>○ 読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考える機会を設ける。</li> </ul>
	家庭では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 疑問や気付きを必ず受け止め、丁寧に答える。</li> <li>○ 読み聞かせを行うとともに、親が読書を楽しむ姿を見せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校での出来事を話題とし、毎日会話する。</li> <li>○ 親子で図書館に行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な事柄を話題とし、互いの考えを伝え合う。</li> <li>○ 親子で読んだ本の感想を伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親子で社会の出来事について話し合う。</li> <li>○ 親子で読んだ本を紹介し合う。</li> </ul>
喜びをもって働く	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 家の手伝いをする。</li> <li>◆ 後片付けや当番活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 家の手伝いなどを進んで行い、役に立つ喜びを知る。</li> <li>◆ 働くことよさを感じて、みんなのために働く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 働くことの大切さと楽しさを知り、進んで働く。</li> <li>◆ 自分の役割を自覚し、協力して主体的に働く。</li> <li>◆ 社会に奉仕する喜びを知って公共のために働く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 働くことの意義を理解し、公共のために役立つことを行う。</li> <li>◆ 自分の役割と責任を自覚し、集団生活の向上のために働く。</li> <li>◆ 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって働く。</li> </ul>	
	学校では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 手伝いをするとうまくいくことを伝える。</li> <li>○ 自分から進んで取り組んだときに認め、褒め、励ます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級において子供一人一人に役割をもたせる。</li> <li>○ 「あなたがいて助かる」など、認め、励ます言葉掛けを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童会活動等を通して、人の役に立つことを実感させる。</li> <li>○ 学級や学校に貢献していることを実感できるよう、声を掛ける。</li> <li>○ 地域の清掃活動などの機会を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒会活動や地域と連携した活動の機会等を通して、人の役に立つことを実感させる。</li> <li>○ 学校や地域に貢献していることを実感できるよう、声を掛ける。</li> <li>○ 職場体験等を通して、勤労の尊さや意義を理解させる。</li> </ul>
	家庭では	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分でできる手伝いを決め、取り組ませる。</li> <li>○ 片付け方を教え、教えたとおりにできたときに認め、褒め、励ます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分で決めた手伝いを続けさせる。</li> <li>○ 子供が「役に立っている」と実感できる声を掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分でできる家事を決め、取り組ませる。</li> <li>○ 親子で地域のボランティア活動に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分でできる家事を増やす。</li> <li>○ 地域のボランティア活動等に参加させ、社会奉仕の精神を養い体験を増やす。</li> </ul>